
令和2年度予算第二特別委員会質問要旨

○ 局別審査

令和2年3月9日

質問者（質問順）

- 1 岩崎 ひろし 委員（共産党）
- 2 福地 茂 委員（自民党）
- 3 青木 亮祐 委員（自民党）
- 4 藤崎 浩太郎 委員（立国フ）
- 5 仁田 昌寿 委員（公明党）

総務局

局 別 審 査

1 岩 崎 ひろし 委員（共産党）

- 1 中外製薬戸塚町開発計画に対する開発許可と防災対策の側面からの審査・検証について
 - (1) 平成26年の台風第18号により、現場周辺地域の床下浸水被害が発生した理由について伺いたい。
 - (2) 開発計画地付近の水門の役割、稼働実績及び管理状態について伺いたい。
 - (3) 柏尾川への許容放流量について伺いたい。
 - (4) 許容放流量は、6年前から変わらず、今後も変わらないと考えるがどうか。
 - (5) 周辺地域に50ミリを越す大雨が降れば、台風第18号の時と同じく浸水被害が発生すると考えるがどうか。
 - (6) 開発予定地の地下に許可基準に基づき設置される貯水槽で、水害を防ぐことができるのか伺いたい。
 - (7) 開発予定地のかさ上げをすれば2万から4万トンの水が周辺地域に流れ、浸水被害が大きくなると考えるがどうか。
 - (8) 横浜市開発事業の調整等に関する条例による同意基準の作成時期及び雨水調整池に係る同意基準の改正経緯について伺いたい。
 - (9) 現行の開発許可基準は有効に機能しているのか伺いたい。
 - (10) 開発許可基準を防災の視点で点検し、なぜ改正しなかったのか伺いたい。
 - (11) 開発許可基準を防災の視点から点検していたのか伺いたい。
 - (12) 開発許可基準を防災の視点からどうして点検できないのか伺いたい。
 - (13) 開発許可は、有効性を失った開発許可基準に基づいており、水害の増大を招くものであると考えるがどうか。
 - (14) これまでの経緯についての認識及び今後の防災対策への心構えについて伺いたい。

1 今後の風水害対策の取組について

- (1) 風水害対策見直し専門部会において検討する課題について伺いたい。
- (2) 発災時の体制、情報共有に関する課題と検討状況について伺いたい。
- (3) 避難に関する課題と検討状況について伺いたい。
- (4) 停電対策に関する課題と検討状況について伺いたい。
- (5) 被災者支援策に関する課題と検討状況について伺いたい。
- (6) 風水害対策の今後の進め方について伺いたい。
- (要望) 市民生活の安全と安心を支えるため、しっかりと対策を強化していくことを要望する。

2 地域防災力の向上について

- (1) 自助・共助を促進するための現在の取組について伺いたい。
- (2) 地域特性に応じた取組が重要と考えるがどうか。
- (3) 今後の地域や市民一人ひとりの取組に対する支援方法について伺いたい。
- (4) 地域防災拠点運営委員に対する運営方法の周知について伺いたい。
- (5) 過去の災害を踏まえた避難所運営における課題について伺いたい。
- (6) 新たに実施する拠点運営委員向けの研修の方法及び内容について伺いたい。
- (要望) より多くの方がこの研修を受講し、本市の運営方法等がしっかりと浸透するように、継続して取り組んでいくことを要望する。
- (7) 地域防災力の更なる向上に取り組むべきと考えるがどうか。

3 地域防災拠点の機能強化について

- (1) これまでの防災備蓄庫移設の状況について伺いたい。
- (2) 今後の防災備蓄庫移設の進め方について伺いたい。
- (3) 地域防災拠点の環境改善に係るこれまでの取組について伺いたい。
- (4) 地域防災拠点の環境改善に向けた今後の取組について伺いたい。

4 防災・減災の普及啓発について

- (1) 防災・減災の普及啓発の具体的な取組内容について伺いたい。
- (2) 令和元年の台風第15号、第19号等を踏まえて行った啓発内容について伺いたい。
- (3) 風水害の啓発を強化することがさらに必要と考えるがどうか。
- (4) 若年層や子育て世代が防災に触れる機会を増やすべきと考えるがどうか。
- (5) わかりやすい啓発の考え方について伺いたい。

3 青木亮祐委員（自民党）

1 本市の感染症対策と新型コロナウイルスへの対応について

- (1) 感染症に対する本市の危機管理体制について伺いたい。
 - (2) 現在、新型コロナウイルス対策をどのように進めているのか伺いたい。
- (要望) あらゆる事態を想定し、所管局の緊密な連携によって、重症者の発生や社会経済等への影響を最小限にとどめることに万全を尽くすよう要望する。

2 地域防災拠点の職員動員について

- (1) 地域防災拠点への職員の動員方法について伺いたい。
- (2) 地域防災拠点の活動の充実と円滑な運営に向けて、現実にできる工夫や改善に努め、一つひとつの取組を具体化し続けていくことが必要と考えるがどうか。

3 令和2年度執行体制について

- (1) 令和2年度に向けての本市職員の執行体制づくりにおける基本的な考え方について伺いたい。
- (2) 職員定数増減の主な内容について伺いたい。
- (3) 令和2年度の執行体制をどのように評価しているのか伺いたい。

4 インターンシップについて

- (1) 横浜市のインターンシップ制度について伺いたい。
- (2) インターンシップの実施状況について伺いたい。
- (3) インターンシップを実施するに当たっての課題について伺いたい。
- (4) インターンシップの課題に対する今後の取組について伺いたい。

5 マイナンバーカードを活用した消費活性化策について

- (1) マイナンバーカードを活用した消費活性化策の仕組みについて伺いたい。
 - (2) マイナポイントの利用に必要な手続きへの支援について伺いたい。
 - (3) 令和2年度は消費活性化策や健康保険証としての利用などが始まる機をとらえ、更なるマイナンバーカードの普及やカードの利活用の促進を図るべきと考えらるかどうか。
- (要望) ポイント利用に関する手続きの支援等を口実にした詐欺被害が発生しないよう、十分な注意喚起や安全対策を講じることを要望する。

6 本市のサイバーセキュリティ対策について

- (1) メールによる高度なサイバー攻撃への対策について伺いたい。
- (2) サイバーセキュリティ人材の確保と育成について伺いたい。
- (3) 東京2020オリンピック・パラリンピックに向けたサイバーセキュリティ確保への意気込みについて伺いたい。

7 新市庁舎整備について

- (1) 当初のスケジュール通りしゅん工を迎えたことについて所感を伺いたい。
- (2) 現在行っている具体的な作業内容について伺いたい。
- (3) マスターリース方式によるリーシングの状況について伺いたい。
- (4) 今後の商業施設の運営に向けた考えについて伺いたい。
- (5) 新市庁舎の概要と新市庁舎への移転日程の広報について伺いたい。
- (6) 市民の期待に応えられるような新市庁舎にするため、長く携わってきた副市長の思いを伺いたい。

1 洪水浸水想定区域に所在する地域防災拠点等への避難のあり方について

- (1) 洪水浸水想定区域内にある地域防災拠点の数について伺いたい。
- (2) 洪水浸水想定区域内にある避難場所での避難行動の考え方について伺いたい。
- (3) 令和元年の台風第19号の際にどのような施設を避難場所として開設したのか伺いたい。
- (4) 地域防災拠点以外に避難場所として開設する可能性のあるところを周知しておくべきと考えるがどうか。
- (要望) 避難場所として開設する可能性のあるところはしっかりと事前に周知することを要望する。

2 風水害対策としての防災スピーカーの設置や情報受伝達手段について

- (1) 令和元年度の防災スピーカーの設置場所について伺いたい。
- (2) 今後の防災スピーカーの設置場所の考え方について伺いたい。
- (3) 今後の防災スピーカーの整備は、ハザードマップなど被害想定に基づいた優先順位で整備すべきと考えるがどうか。
- (4) 情報伝達手段としてLINEアプリを活用すべきだと考えるがどうか。
- (5) 防災・減災推進研修の受講者の年代、地域における立場について伺いたい。
- (6) LINEアプリやSNSを活用し、新たな担い手開拓に取り組む必要があると考えるがどうか。

3 テレワークの活用について

- (1) 令和元年度のテレワーク端末の運用台数とコロナウイルス対応により増設した端末の台数について伺いたい。
- (2) 今後、テレワーク用の端末台数を増やす考えはないのか伺いたい。
- (3) テレワークの対象要件を拡大すべきと考えるがどうか。

4 長時間労働の現状と是正対策について

- (1) 月80時間を超える超過勤務を行う職員をゼロにするための方策について伺いたい。
- (2) 年720時間を超える超過勤務を行う職員の人数と内訳について伺いたい。
- (3) 超過勤務時間が多い職場への職員の増員も含め、全市的な超過勤務時間の縮減への認識について伺いたい。
- (4) 超過勤務の分析と縮減に向けた今後の取組について伺いたい。

5 新たな財務会計システム構築に対する総務局の関わり方について

- (1) 財務会計システムを業務改善や職員の働き方改革にも活用できるのではないかと考えるがどうか。
- (2) 「財務事務等改革プロジェクト」における総務局の役割について伺いたい。
- (3) 事業評価のシステム化等による、P D C Aサイクルの効果の高め方について伺いたい。
- (要望) 新しい財務会計システムは政策局、総務局、財政局がしっかりと連携して開発することを要望する。

6 R P Aの活用に向けた取組について

- (1) 実証実験を踏まえたR P Aに対する評価や業務への適性について伺いたい。
- (2) R P Aの庁内展開の進め方について伺いたい。
- (3) 手続きのデジタル化に向けた検討状況について伺いたい。
- (4) I C Tを活用した働き方改革をより一層進めていくべきと考えるが、最高情報統括責任者の見解を伺いたい。
- (要望) I C Tを活用した働き方改革について、推進体制を整備し、取組をしっかりと進めていくことを要望する。

7 人材育成ビジョンの改訂と人材の確保について

- (1) 時代の変化に対応した形で人材育成ビジョンを改訂していくべきと考えるかどうか。
- (2) ICTやデータ活用スキルを持った人材を確保するなど、DX（デジタル・トランスフォーメーション）に向けた組織づくりを推進していくべきと考えるかどうか。
- (要望) 自治体DXを積極的に推進していくことを要望する。
- (3) これからの横浜市の職員に「進取の気性」を身に付けさせるために、どのようにしていくことがよいと考えているか伺いたい。

8 公用車の交通事故削減のためのコンプライアンスの取組について

- (1) 資源循環局の自動車事故が減少していない状況について伺いたい。
- (2) 資源循環局の自動車事故を減らすため、コンプライアンスの観点から総務局としても関わっていくべきと考えるかどうか。

1 新型コロナウイルス感染症対策について

（１）職員に感染者等が出た場合の市役所業務の継続について伺いたい。

2 地域防災拠点における電源と通信環境の確保について

（１）地域防災拠点の運営における電源確保の状況と課題について伺いたい。

（２）地域防災拠点の運営における今後の電源確保の取組について伺いたい。

（３）電源の柔軟な活用方法を検討していくべきと考えるがどうか。

（４）地域防災拠点の通信環境の整備を進めるべきと考えるがどうか。

（要望）地域防災拠点での電源確保、通信環境の整備を要望する。

3 感震ブレーカーの普及促進について

（１）これまでの感震ブレーカー補助件数について伺いたい。

（２）これまでの感震ブレーカー補助事業における課題について伺いたい。

（３）令和２年度の取組内容について伺いたい。

（４）危機管理室長の自宅には、感震ブレーカーを設置しているか伺いたい。

（５）感震ブレーカーの今後の周知及び啓発方法について伺いたい。

（６）感震ブレーカーの設置世帯数の地域傾向を把握し、設置促進の重点化を図るなど、更なる普及に努めていくべきと考えるがどうか。

4 新危機管理システム等更新事業について

（１）新危機管理システムへの移行時期と移行に向けた準備状況について伺いたい。

（２）新危機管理システムは市民にどういったメリットがあるのか伺いたい。

5 文書制度について

- (1) 本市における文書制度に関する基本的な考え方について伺いたい。
- (2) 本市における文書制度運用上の指導・監督体制について伺いたい。
- (意見) 横浜市行政文書管理規則の条例化も視野に入れていくべきではないか。
- (3) 新市庁舎移転に当たっての行政文書の削減の取組について伺いたい。
- (4) 新市庁舎における行政文書の管理体制について伺いたい。
- (5) 行政文書の管理体制を維持していくための取組について伺いたい。
- (6) 歴史的公文書を、どのような基準により選定し、どのような形で保管をしているのか伺いたい。
- (7) アーキビストを活用していくべきだと思うが、本市の現状について伺いたい。
- (8) 歴史的公文書として、文書を後世に残していく制度の意義について伺いたい。
- (9) 将来に向けて、横浜市史資料室の施設・機能の拡充の検討を進めるべきと考えるがどうか。

6 Wプログラムの取組について

- (1) Wプログラムで掲げる数値目標に対する実績について伺いたい。
- (2) Wプログラムのこれまでの取組に対する所感と今後の方向性について伺いたい。
- (3) 女性活躍やワークライフバランスに関する実績を今以上に公表し、より一層「見える化」を進めるべきと考えるがどうか。
- (4) 女性活躍推進や男性職員の育児参加の促進には、幹部職員のさらなる意識改革、リーダーシップの発揮が重要であると考えがどうか。

7 人材育成について

- (1) 横浜市が抱える人材育成上の課題について伺いたい。
- (2) 技術職員など専門分野の人材育成に関する取組について伺いたい。
- (3) 責任職の人材育成にどう取り組み、どのような責任職に育成したいと考えているのか伺いたい。